



西尾いきものふれあいの里だより

4月号

2024.4.1 発行

さとやま

4月の里といきもの



今年の3月は、春本番の暖かい日もありましたが、後半は真冬のような寒さの日もあり、着るものに悩む気候でした。4月になれば冷え込みもなくなり、暖かくなることでしょう。ビオトープ下の池や菖蒲園などでは**ゲンゲ**（一般には蓮華草《レンゲソウ》と呼ばれています）の花が咲く風景が広がります。

マメ科に分類される越年草で、中国原産の帰化植物です。マメ科の植物は根にある根粒菌が空気中の窒素を固定するため、やや湿った場所を好むことから、稲刈りのあと種まきして春に土にすき込み、水田の肥料として利用されることにより広がりました。今では、化学肥料が使われることが多く、一面の蓮華畑は見られなくなりました。

ゲンゲの花の周りでは、こんな花も見られます。

ムラサキサギゴケ



苔（こけ）と名がついていますが、コケ植物ではなく種子植物で、サギゴケ科に分類される多年草です。花の姿が翼を広げた鷺（さぎ）のように見え、紫色なので名が付けました。変異種に白花のものがあり、それを「サギゴケ」と呼ぶこともあります。

日当たりのよい湿った場所を好み、春から初夏にかけて、里のあちこちで見られます。匍匐茎を伸ばして広がり、群生していることが多いです。

花の形は唇形で、上にめくれた小さな上唇と、3つに裂けた大きな下唇から成り立っています。下唇の中央に黄褐色の目立つ斑紋があり、虫たちに蜜のありかを教える目印となります。上唇の内側には4本の雄しべと1本の雌しべがあり、導かれたハナバチの頭や背中に確実に接触して受粉するようになっています。

里ではこの時期、ムラサキサギゴケのほかにも唇形の花が見つかります。

カキドオシ



シソ科に分類されるつる性の多年草で、茎が地を這って横へ広がり、垣根を通り抜けて隣の庭に侵入するほど育つため、この名前がつけられました。日当たりの良い適度に湿った土地を好みます。里では、ハンノキ広場やトンボの里などで見られます。

二つずつ並んで花が付くことが多く、色は薄い紫から淡紅紫色で、下唇は4裂して、内側に虫を呼ぶための目印となる濃紅紫色の斑点とちぢれた毛があります。

春の若くてやわらかな茎葉と花は食べられ、お茶代わりに飲むことで健康維持やダイエットに良いとされています。また、葉や茎を揉むとシソのようなミントのような香りがあり、料理にも利用されています。薬草として、消炎や糖尿病、子供の癩の虫にも使われます。

キランソウ



シソ科に分類される多年草です。ランに似た紫色の花を意味する「紫蘭草（しらんそう）」が変化したものと言われています。茎が直立せず四方に分枝して、草全体が地表に這って円盤状の形になる様子から、「地獄の釜の蓋（ふた）」という別名があります。花は唇形ですが、5~10mmと小さいです。

日当たりが良く、排水が良い土地を好み、里ではビオトープ上の池付近や、田んぼエリアの農機具小屋の付近などで見られます。

カキドオシと同じく、ミントのような香りがあります。生薬として、高血圧、鎮咳、去痰、解熱、健胃、下痢止め、切り傷などに効果があるとされ、「医者いらず」の別名や、地獄に落ちないという意味で、先ほどの「地獄の釜の蓋」の名の由来だとも言われます。

4月はこんな生きものも見られます

3月に引き続き、里では様々な色や大きさのスマレのなかまの花が咲いています。紫色の
本家**スマレ**は、葉の付け根に翼(よく)があることで他のスマレと区別することができます。
里の入り口のからビオトープ上の池へ続く道や、万灯山山頂でよく見られます。

アケビの花は里の色々な場所で見られます。よく似た形の紫色のものは**ミツバアケビ**です。
1つの花穂の中で、少数の大きいものが雌花、たくさんある小さいものが雄花です。花はた
くさん咲きますが、秋に実をつける株は決まっています、センターのテラス前のものは、毎年
たくさん実ります。

エリア内ではトンボの里に1株だけある**シュンラン**は、ここ数年花をつけませんでした
が、今年は咲きました。半日蔭の林の中を好みますが、環境の変化に敏感なのでしょうか。
また毎年咲くようになるといいですね。



ツツジのなかまの中でも花期の長い**ヤマツツジ**は、センターゾーンや万灯山山頂など、里
のあちこちで見られます。花色は赤からオレンジ色まで様々です。万灯山エリアでは、花期
の短い他の種類のツツジも見ることができます。

草地ではタンポポによく似た**オオジシバリ**が見られます。花茎にいくつかの集合花がつく
こと、集合花の中の花数が少なく重ならないことで見分けられます。他にもタンポポに似て
いる花があります。探してみてください。

トンボの里や野鳥の森などでは、メタリックグリーンの**アサヒナカワトンボ**の姿が見られ
ます。前翅の縁が赤い雄は、成熟すると体が白い粉をふいたようになります。

万灯山山頂では、青色の**フデリンドウ**の花が、「妖精の足跡」に例えられるように点々と咲
いています。変わった形の**ヒメハギ**の花を見つけることもあります。下の道には、**クサイチ
ゴ**の白い花が咲きます。来月にはたくさんの苺が実ることでしょう



こんな春の花たちが咲き乱れる里を散策してみませんか。水分補給をお忘れなく、ぜひ万
灯山にも足を伸ばしてみてください。

4月の行事予定

7日(日)	タケノコ掘りで竹林整備しようⅠ ※注1	30名	AM9:30~11:30	当園職員
14日(日)	タケノコ掘りで竹林整備しようⅡ ※注1	30名		

内容 ~ 里の竹林整備・環境学習の一環として、トンボの里の竹林でタケノコ掘りを体験します。

竹林整備の仕方、タケノコの生え方などを教えてもらい、
実際にバチ鍬(くわ)を使って採り方を学びます。

「※注1」の講座は、定員に達したため受付を終了しました。



21日(日)	タンポポの仲間たちを探そう	20名	AM9:30~11:30	高須桂子
--------	---------------	-----	--------------	------

内容 ~ あっ! タンポポ見つけた...それ本物ですか? 春の生き物を観察しながら、
タンポポそっくりさんを探します。

タンポポによく似た花たちを見分けながら、何種類みつけられるかな。



5月の行事予定

12日(日)	野鳥のさえずりを聞いてみよう	20名	9:30~11:30	高田俊洋
--------	----------------	-----	------------	------

内容 ~ 春の里山で野鳥を観察します。

南から渡ってきた夏の小鳥のさえずりを、みなさんで聞いてみたいと思います。

美しい姿も観察できるかもしれません。



19日(日)	棚田でお米を作ろうⅠ(田植え) ※注2【予備日:5/26】	60名	9:30~11:30	当園職員
--------	----------------------------------	-----	------------	------

内容 ~ 里山から流れ出る冷たい水を棚田に引き込み、稲の苗を手で植えます。

ぬかるんで歩きにくい棚田での作業は、苦勞の多い作業ですが

「きっと、おいしいお米ができることでしょう!」

自分たちが食べるお米が、どうやってできるのか

子どもたちには、貴重な楽しい体験になります。

「※注2」 棚田でお米を作ろうⅠ~Ⅲの講座は原則3回の講座のため、

2回以上受講した方に限り、参加特典として

「お米」をプレゼントします。



- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課